

## 平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

秋田県

|         |   |
|---------|---|
| 行 事 名 称 | 平成30年文化財防火デー想定訓練                        |
| 実施期間・日時 | 平成30年1月28日（日）9：00～9：45                  |
| 実 施 場 所 | 国指定重要文化財「旧阿仁鉱山外国人官舎」（北秋田市阿仁銀山字下新町41-23） |
| 主 催 者   | 北秋田市教育委員会                               |

## ■実施内容

## 訓練の想定

「県北部に最大震度6強の地震が発生。旧阿仁鉱山外国人官舎に併設する阿仁郷土文化保存伝承館の照明器具が転倒し出火。伝承館職員が館内巡回し、火災を発見する。」と想定した。

## 訓練の内容

119番通報、初期消火（水消火器・バケツリレー）、市職員等による歴史資料（模擬）の持ち出し、消防団員による見学者の避難誘導、ボイストラを利用した外国人旅行客の救急処置・搬送、消防署・消防団による火災防ぎょ・中継送水訓練。

## 参加者及び役割分担

異人館・伝承館指定管理団体職員（2名）：火事ぶれ、初期消火訓練（水消火器）、119番通報訓練。

阿仁総合窓口センター職員（9名）：歴史資料持ち出し、避難誘導。

下新町自治会（自主防災組織）（20名）：初期消火活動訓練（バケツリレー消火）。

北秋田市消防署（11名）：全体統括、指揮、講評。

消防団第11・12・13分団（18名）：避難誘導、放水訓練。

北秋田市教育委員会（5名）：現場立会い・撮影記録、外国人負傷者役。

## 特に工夫した点

今回は増加している外国人客を考慮し、救急隊がボイストラを利用した外国人負傷者の救急処置を訓練した。負傷者役としてALTの協力を得て、全て英語で行った。

## 問題点・課題

地元自治会の若い世代の訓練参加者が少なく、当該世代の参加者の増加、文化財防災意識の浸透および拡大の取り組みが今後の大きな課題である。

## その他

市内四地区での文化財防火デー想定訓練の実施が定着した。開催場所も各地区の文化遺産・建造物を巡回して実施しており、地域住民・消防団に文化財保護・防災意識が拡大・浸透してきている。今後も訓練内容を考えながら継続して実施していく予定である。

## 訓練風景



バケツリレーによる初期消火訓練



ボイストラによる外国人負傷者処置訓練